

第3回講演会

「大学での複言語主義の発想と運用」

西山教行先生（京都大学教授）

2022年9月24日(土) 13:30-16:00

麗澤大学あすなろ校舎2505教室

（定員50人 事前申し込みをお願いします）

13：30～14：45 西山教行先生講演

14：50～15：20 麗澤大学ドイツ語専攻におけるタスク・コンテンツ中心の
授業の導入 濱野英已（麗澤大学外国語学部講師）

15：25～16：00 討論

ヨーロッパの言語教育の指標として作成された「ヨーロッパ共通参照枠（CEFR）」。日本では、フランス語やドイツ語教育、日本語教育でもJFスタンダードとしてその基本が取り入れられつつあります。しかし、その発想は英語をはじめ外国語教育全般で十分に浸透しているとはいえません。そこで、今回はCEFRを理論的、実践的に研究している西山先生にご講演いただき、その後、ドイツ語のタスク・コンテンツ型授業の取り組みを示しながら、複言語教育について、西山先生、参加者と考えていきたいと思えます。大学に限らず複言語教育に関心のある皆様の参加をお待ちしています。

西山教行（にしやまのりゆき）研究分野は言語教育学、フランス語教育学、言語政策。日本フランス語教育学会会長、日本言語政策学会副会長。

最近の著作：『CEFRの理念と現実 理念編 言語政策からの考察』（共編著）

2021年くろしお出版。『CEFRの理念と現実 現実編 教育現場へのインパクト』（共編著）2021年くろしお出版。ほか多数

申し込み：QRコードをご利用ください。

（またはメールでご連絡ください）

問い合わせ：山川和彦 kyamakaw*reitaku-u.ac.jp

*を@に変えてください。件名には公開シンポジウムとお書きください

